

集会案内

日曜日

礼拝 : 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「靴が笑う」

この一月二十九日のサンデー午後のことだ。グレースヒルズ教会に着いたので車から降り、チャペルに向かって歩き始めた時のことである。どうもいつもの歩ぎができないのである。何だか分からないが変なのだ。別体調がおかしいのでも足がふらついているのでもない。どうやら靴に何かが起こったようだ。前日に磨いた時には何の異常もなかったのに。そこでまずはチャペルに着いてから点検することにした。するとどうだろう、靴底が半分ほど剥がれているではないか。とはいえ、靴を脱いで裸足になることもできず、替えの靴を持っているはずもないので、家に帰るまで履き続けたいといけない。それに、その日はサンデースクールの子供たちの前で歌をリードしたり、紙芝居をしたり、お祈りをする番である。結局、その都度、靴底が剥がれないように足を引きずって歩かなければならなかったが、家に帰るまで守られたのは幸いであった。

その日、会衆の前で、「僕は今朝、生まれて初めての経験をしました。車から降りてチャペルに向かって歩こうとした時に、スムーズに歩けなかったのです。一体、何が起こったと思いますか？」と尋ねると、もちろん誰も答えられなかった。そこで実際に靴を脱いで見せると、その日のゲスト・スピーカーのI兄が言った。「靴が笑ってる」と。かれこれ十五年ほど履いてきたこの靴は、礼拝に備えて毎土曜には欠かさずに磨いてきた愛用品であり、型も崩れずすぐれ物だった。さて、靴を永遠に履き続けることは出来ないが、修理して、せめてもう少しの間、僕の足の一部として共に歩んでくれればと願っている。

福音書に、中風になった人を彼の仲間が主イエスのもとに連れてきたことが記されている。その時、主は「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」(マタイ九・2)と言われ、続けて「起きよ、床を取り上げて家に帰れ」とおっしゃり直ちにその病を癒やされている。ここで主は、病を癒す前に罪の赦しを宣言している。それは癒しという一時的なことよりも、罪の赦しという永遠の世界への門戸を開く救い主が、ついに到来したという宣言でもあった。本来、私たちは神と共に生きるために造られている。そのために、主から離れず、主のもとに帰るその日まで主と共に歩み、救いを全うしたいものである。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。